

# 第6期 営業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

# 2014

## DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌  
2014年(26年3月期)

足利ホールディングス 足利銀行

ASHIKAGA HOLDINGS ASHIKAGA BANK

▲足利ホールディングス

▲足利銀行

# 企業理念

“企業理念”は、足利ホールディングスおよび足利銀行のすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。  
わたくしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

## 存在意義

### 「豊かさの創造に寄与する」

足利銀行は、地域の総合金融機関として、地域社会のすべての人々の豊かさの創造に寄与しつづけます。

## 経営姿勢

### 「地域と共に生きる」

足利銀行は、お客さま本位の精神のもとに、地域と共に生きる開かれた銀行として積極的で健全な経営をすすめます。

## 行動規準

### 「誇りと喜びをもって行動する」

わたくしたちは、自らの使命・役割をよく理解し、たえず自分を磨き、高め、誇りと喜びのある行動によって、人々の期待と信頼に応えます。

## プロフィール (平成26年3月31日現在)

### ○ 足利ホールディングス

商号 … 株式会社足利ホールディングス  
設立年月日 … 平成20年4月1日  
資本金 … 1,174億9,555万円  
本社所在地 … 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号  
(足利銀行本店内)

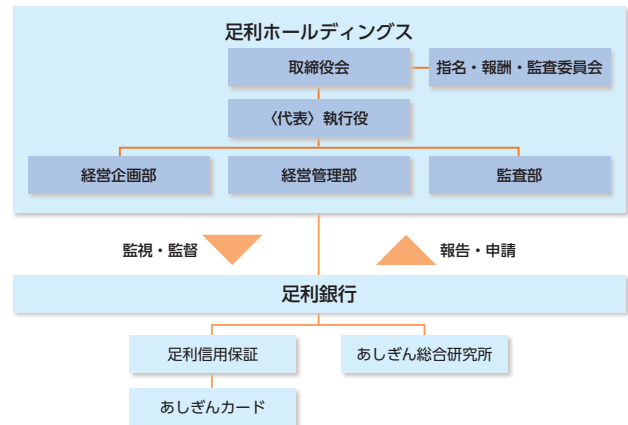
### ○ 足利銀行

商号 … 株式会社足利銀行  
創業 … 明治28年10月1日  
資本金 … 1,350億円  
足利ホールディングスの100%子会社  
職員数 … 3,006名  
本店 … 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号

◆ 足利銀行は明治28年10月に栃木県足利市で創業、その後、業容の拡大とともに、昭和42年2月に北関東の中核都市である宇都宮市に本店を移転いたしました。

## 経営体制

企画機能を統括する経営企画部門、管理機能を統括する経営管理部門、内部監査を統括する監査部門を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。





株式会社足利ホールディングス  
代表執行役会長

藤澤 智



株式会社足利ホールディングス  
代表執行役社長  
株式会社足利銀行  
代表執行役頭取

松下 正直

皆さまには、平素より足利ホールディングスならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、当社は、平成25年12月19日、東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期のわが国経済は、各種経済対策や日本銀行による金融緩和の大幅な強化を受け、設備投資が持ち直したほか、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、住宅投資が増加し、個人消費も底堅く推移するなど、緩やかな回復を続けました。

栃木県経済におきましても、設備投資に改善の兆しがみられたほか、住宅投資や個人消費は底堅い動きとなり、緩やかに回復している状況となりました。

このような環境のもと、当社グループは、平成25年4月よりスタートした中期経営計画『チャレンジ120～創業120年に向けた果敢なる挑戦～』に基づき、地域における円滑な金融仲介機能の発揮やお客さまのニーズに応じた金融サービスの提供に努めてまいりました。

法人分野におきましては、お取引先との接点を強化するとともに新規融資への積極的な取組みを進めました。また、商談会の開催や、栃木県内に本店を置く地域金融機関等との共同による中小企業再生ファンド「とちぎネットワークファンド」の設立など、ライフステージに応じたお取引先企業へのコンサルティング機能の発揮に取り組みました。

個人分野におきましては、お客さまのライフイベントに応じた商品・サービスの充実に取り組み、「教育資金贈与専用預金」や新たなカードローン商品「Mo・Shi・Ca（モシカ）」の取扱いを開始したほか、株式会社朝日信託との業務提携により、遺言信託等の相続関連業務ならびに個人信託の取扱い（媒介）を開始いたしました。

店舗につきましては、高崎支店内に設置していた高崎ローンセンターを、ローン業務に特化した有人出張所拠点として移転したほか、みずほの出張所（リテールセンター）を「インターパーク支店」に名称変更のうえ新築移転し、ローンセンターを併設いたしました。

こうした取組みの結果、当社連結ベースでの経常利益は前年度比95億74百万円増加の282億71百万円、当期純利益は前年度比89億9百万円増加の243億14百万円となりました。

景気は緩やかに回復しておりますが、地域経済は、少子高齢化の進展や人口減少、産業の空洞化といった構造的な問題を抱えており、地域金融の一層の円滑化などを通じて、地域経済の発展に貢献することが、地域金融機関として重要な課題であると認識しております。

地域のお客さまと足利銀行をはじめ当社グループ相互の発展に向け、役職員一同、全力を尽くしてまいりますので、皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

平成26年6月

## 足利ホールディングスは東京証券取引所第1部に上場いたしました

平成25年12月19日、足利ホールディングスは東京証券取引所第1部に上場いたしました。

当社は、足利銀行とともに世界の動きを常に見据えながら、営業基盤である北関東地域にしっかりと根付いた経営をしております。そして、地域の発展に寄与し、ともに成長する銀行となるよう、役職員の力を結集し、企業価値の向上に取り組んでまいります。



東京証券取引所第1部上場

## 平成25年度の主な取組み

平成  
25年  
7月

- 動産担保・売掛金担保を活用した融資（ABL）の取組強化の一環として、外部専門会社2社（ツールバグループホールディングス株式会社、株式会社ゴードン・ブラザーズ・ジャパン）と業務委託基本契約書を締結

8月

- 独立行政法人中小企業基盤整備機構、栃木県信用保証協会ならびに栃木県内に本店を置く地域金融機関と共同で、中小企業再生ファンド「とちぎネットワークファンド投資事業有限責任組合」を設立
- 「女性が活躍できる職場作りプロジェクトチーム」を立ち上げ



9月

- 株式会社農林漁業成長産業化支援機構、株式会社みずほ銀行、みずほキャピタル株式会社、栃木県内の信用金庫・信用組合と共同で「とちまる6次産業化成長応援ファンド」を組成



10月

- 国土交通省および一般社団法人環境不動産普及促進機構との間で、老朽・低未利用不動産の再生促進を目的としてパートナー協定を締結
- PFI事業を促進することを目的として政府と民間企業の共同出資により設立された「株式会社民間資金等活用事業推進機構」（PFI推進機構）に出資

12月

- ベトナムで事業を展開するお取引先への支援を強化するため、ベトナムの大手商業銀行であるベトコム銀行と業務提携
- 地方公共団体さま向け「あしぎん地域サポートプログラム」を創設

平成  
26年  
1月

- アジア地域で事業を展開するお取引先への支援を強化するため、インドステイト銀行（インド）、メトロポリタン銀行（フィリピン共和国）と業務提携

2月

- 株式会社朝日信託との業務提携により、相続関連業務（遺言信託・遺産整理業務・財産承継プランニング）ならびに個人信託取扱い（媒介）を開始

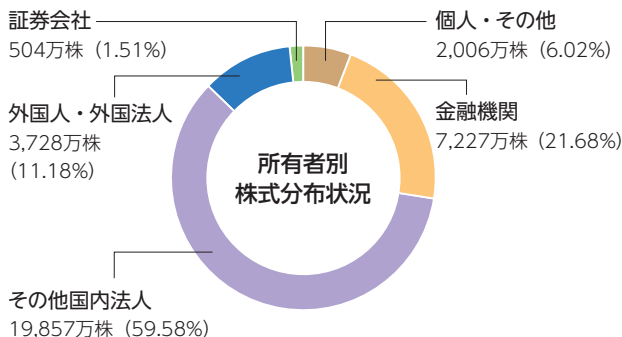
# 株式のご案内 (平成26年3月末)

## 株式の状況

- 発行済株式の総数 333,250千株
- 株主数 14,687名
- 大株主状況 (上位10位)

株主名	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	36.87
足利ネクスト投資事業有限責任組合	53,000	15.90
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	16,888	5.06
ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	15,000	4.50
日本興亜損害保険株式会社	15,000	4.50
三井住友海上火災保険株式会社	15,000	4.50
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS(E)BD	6,198	1.86
全国共済農業協同組合連合会	5,623	1.68
日本生命保険相互会社	5,000	1.50
株式会社セブン銀行	4,000	1.20
株式会社損害保険ジャパン	4,000	1.20

(注) 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



## 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、下野新聞及び日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.ashikaga-hd.co.jp/e-publication/">http://www.ashikaga-hd.co.jp/e-publication/</a>

## お問い合わせ先

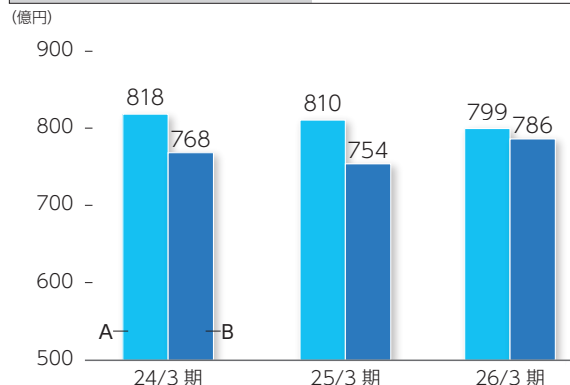
### 三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

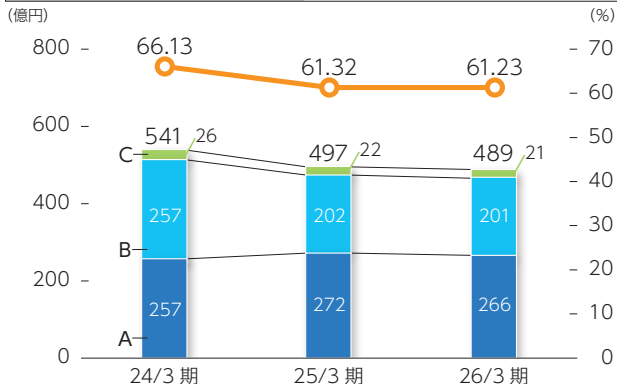
# 主要な計数指標 (足利銀行単体)

**業務粗利益** ■ A 業務粗利益 ■ B コア業務粗利益



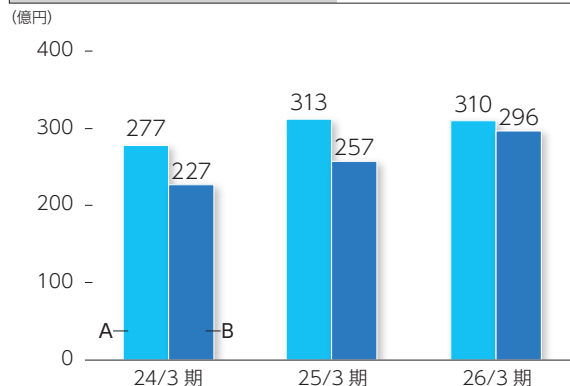
業務粗利益は、国債等債券損益の減少（前期比△42億円）等により、799億円（同比△11億円）となりましたが、資金利益638億円（同比+10億円）と役員取引等利益143億円（同比+22億円）は増加し、コア業務粗利益は786億円（同比+31億円）となりました。

**経費・OHR** ■ A 人件費 ■ B 物件費 ■ C 税金 ○ OHR



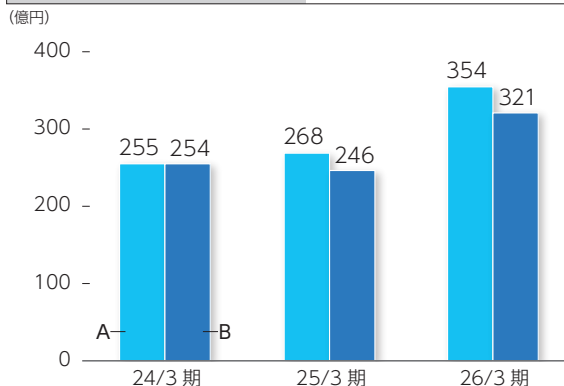
経費は、前期比△7億円の489億円となり、経費率（OHR）は、61.23%に低下いたしました。

**実質業務純益・コア業務純益** ■ A 実質業務純益 ■ B コア業務純益



実質業務純益は、国債等債券損益の減少はありましたが経費の減少により、310億円（前期比△3億円）の前年同水準となりました。国債等債券損益を控除した後のコア業務純益は296億円（同比+75億円）となりました。

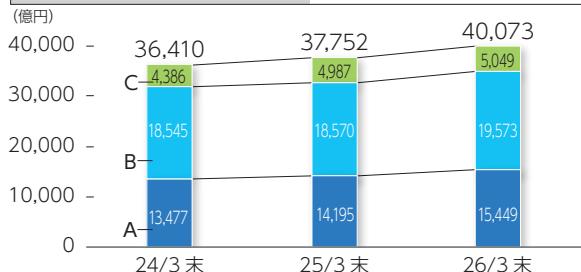
**経常利益・当期純利益** ■ A 経常利益 ■ B 当期純利益



経常利益は、保有株式の一部売却による株式等損益123億円を計上したこと等から、354億円（前期比+85億円）、当期純利益は321億円（同比+75億円）に増加いたしました。

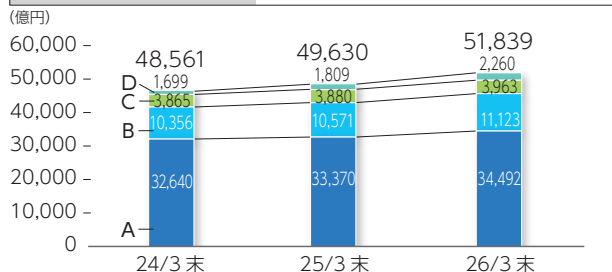
# 主要な計数指標（足利銀行単体）／自己資本比率

## 貸出金残高



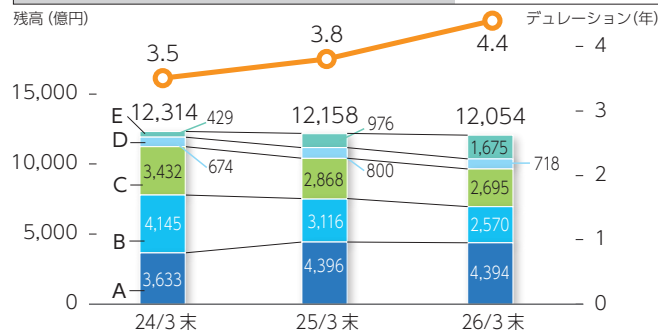
貸出金残高は、個人貸出が住宅ローンを中心に1兆5,449億円（前期比+1,255億円）、法人貸出についても1兆9,573億円（同比+1,003億円）と増加し、4兆737億円（同比+2,320億円）となりました。

## 預金等残高



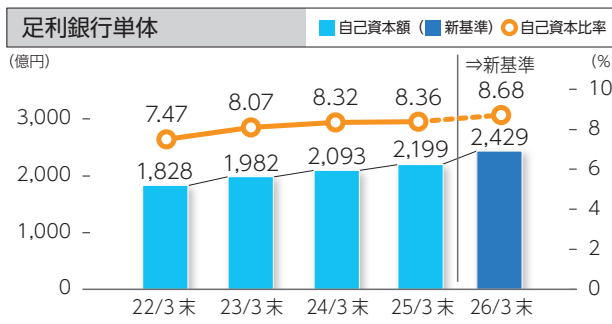
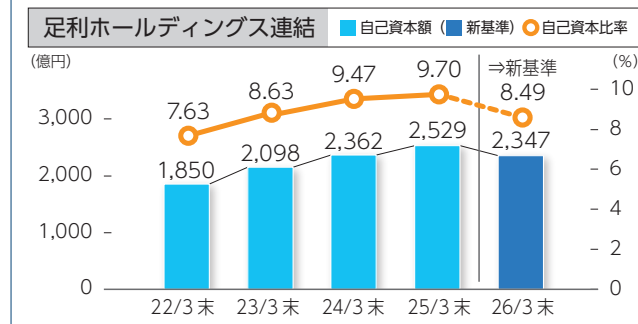
預金等残高は、個人預金3兆4,492億円（前期比+1,122億円）、法人預金1兆1,123億円（同比+551億円）とそれぞれ堅調に増加したことから、5兆1,839億円（同比+2,208億円）となりました。

## 有価証券残高・円貨債券デュレーション



有価証券残高は、1兆2,054億円（前期比△104億円）となりました。債券は、国債が4,394億円（同比△2億円）、地方債が2,570億円（同比△546億円）、社債が2,695億円（同比△172億円）といずれも減少いたしました。円貨債券デュレーションは4.4年となりました。株式は、株価上昇を受けて保有銘柄の一部売却を行ったことから、718億円（同比△81億円）となりました。その他の証券は、外国債券の積み増し等により、1,675億円（同比+698億円）となりました。

## 自己資本比率の推移



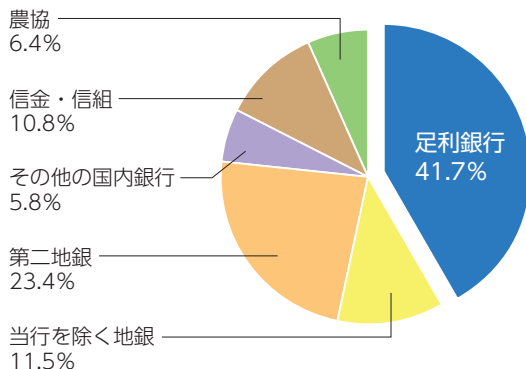
26/3末より、パーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。

足利ホールディングス連結は、上場に伴う公募増資等による調達（総額249億円）、優先株式の償還（取得総額792億円）等の資本政策を実施したこと等により自己資本比率（新国内基準）は8.49%となりました。銀行単体の自己資本比率（新国内基準）は8.68%となりました。

# 地域密着型金融への取組み

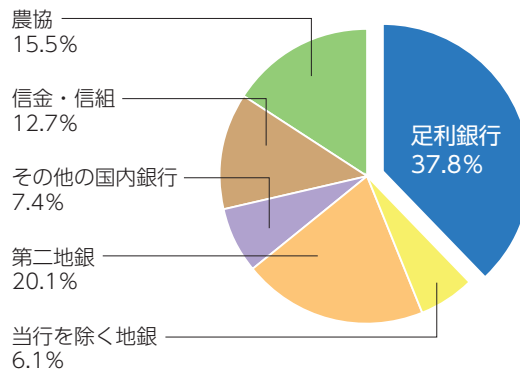
## 栃木県内シェア

### 貸出金 (25年3月)



※本計数の対象金融機関は、国内銀行、信用金庫、信用組合、農協です。(当行調べ)

### 預金 (25年3月)



### 貸出金残高、地域向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	24/3期	25/3期	26/3期
貸出金残高	36,410	37,752	40,073
地域向け貸出金残高	30,323	31,330	33,354
地域向け貸出金比率	83.2	83.0	83.2

### 中小企業等向け貸出金残高・比率、地域の中小企業等向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	24/3期	25/3期	26/3期
中小企業等向け貸出金残高	25,759	26,466	28,515
中小企業等向け貸出金比率	70.7	70.1	71.2
地域の中小企業等向け貸出金残高	24,590	25,094	26,557
地域向け貸出金に対する地域の中小企業等向け貸出金比率	81.0	80.1	79.6

### 預金残高、地域の預金残高・比率

(億円、%)

	24/3期	25/3期	26/3期
預金残高	46,862	47,821	49,578
地域の預金残高	46,326	47,440	49,114
地域の預金残高比率	98.8	99.2	99.1

### 預り資産残高、地域の預り資産残高・比率

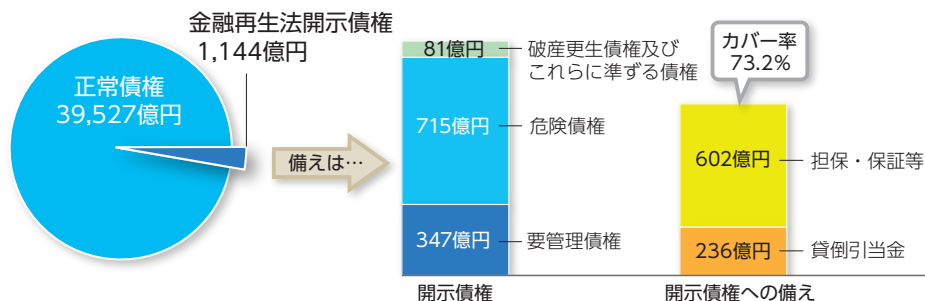
(億円、%)

	24/3期	25/3期	26/3期
預り資産残高	6,899	7,568	7,470
地域の預り資産残高	6,891	7,560	7,462
地域の預り資産残高比率	99.8	99.8	99.8

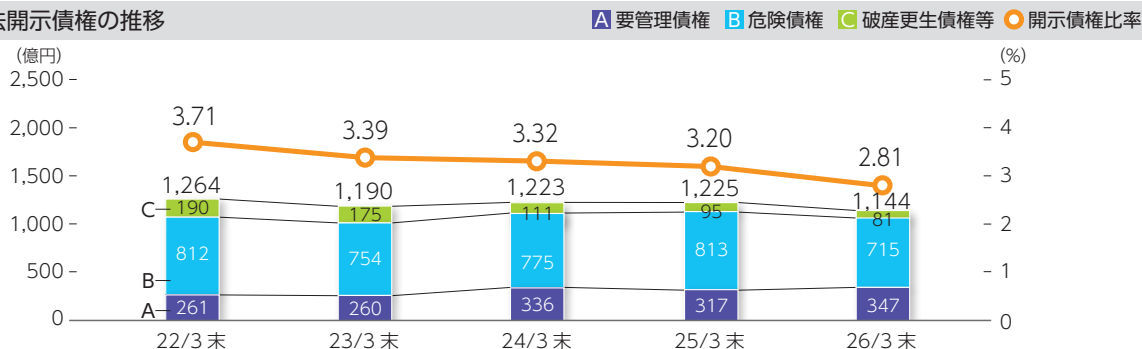
※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）をさしております。



## 金融再生法に基づく開示債権の状況（26/3末）



### 金融再生法開示債権の推移



不良債権残高は危険債権の減少等により、1,144億円（前期比△81億円）となりました。また、不良債権比率は、正常債権が大きく増加したこともあり2.81%（同比△0.39%）に低下いたしました。

### 金融の円滑化に関する取組方針

「中小企業金融円滑化法」は平成25年3月末をもって終了しましたが、足利銀行では、「中小企業者等に対する金融の円滑化の方針」に基づき、新規のお借入れおよびご返済条件の変更等のお客さまからの各種ご相談に、これまで同様に積極的に努めてまいります。

また、経営改善支援につきましても、お客さまの経営課題に対し適切な解決策をご提案してまいります。

#### 〈中小企業者等に対する金融の円滑化に関する方針（抜粋）〉

「お客さまからの新規のお借入れおよびご返済条件の変更等のお申込みに対して、お客さまの要望を真摯にお伺いし、適切な対応を行うよう努めてまいります。」

### 金融円滑化に関するご相談窓口

#### 苦情相談窓口

フリーダイヤル 0120-550-760

受付時間 平日 9:00～17:00

（銀行の休業日を除きます）

#### 新規のお借入れおよびご返済条件の変更等をご希望のお客さまのご連絡先

お取引店の担当者までご連絡ください。

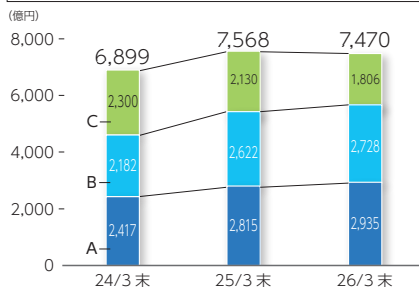
## 個人のお客さまへの取組み



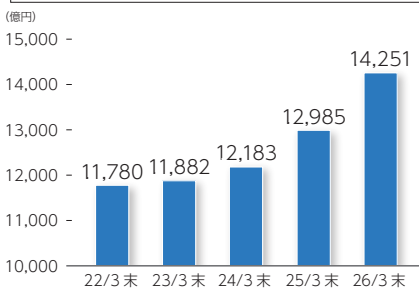
スマイルデスク

### 預り資産残高

A 投資信託 B 生命保険 C 債券



### 住宅ローン残高



### ○スマイルデスク

多様化するお客さまのライフスタイルにあった資産形成のご相談にお応えするため、金融商品販売店舗に相談ブース（スマイルデスク）を設置し、専門スタッフが資産づくりのご相談をお受けしております。お客さまを笑顔でお迎えし、親切・丁寧に対応するという思いから「スマイルデスク」と名付けました。

### ○運用商品

投資信託は、身近な投資として注目されお客さまの関心も高いことから、お客さまの運用ニーズにお応えできるよう、国内・海外各国の債券、株式、不動産への投資など目的に応じたさまざまな商品を、74銘柄（平成26年3月末現在）取り扱っております。また、各種保険商品、国債、外貨預金など幅広い商品を取り揃えております。

足利銀行では、金融商品販売ナビゲーションシステムの導入によりフロントコンプライアンスを強化し、説明責任や適合性の原則の徹底、優越的地位の濫用防止など、お客さま保護に基づく適切な販売につとめております。

### ○ローンセンター

お客さまにいつでも安心して気軽にご来店いただき、ごゆっくりとご相談いただけるように、24か所のローンセンターを設置しております。一部を除き、多くのローンセンターで土日の営業を行い、ローン専門のスタッフが各種ローン商品の説明と資金計画・返済計画等のご相談をお受けしております。

住宅ローンをはじめ、自動車や自転車のご購入にもご利用いただけるマイカーローンや教育ローン、使いみち自由なフリーローンやカードローンなど、お客さまのさまざまなニーズにお応えする各種ローンを取り揃えております。

- 新規の住宅を取得される方を対象とした「マイホーム取得応援金利プラン」を実施
- 他の金融機関からのお借換えされる方を対象とした「借換応援金利プラン」を実施
- 配偶者（女性）ががんと診断された際に一時金をお支払する「配偶者特約」など、団体信用生命保険の保障内容をさらに充実させた「8つの疾病保障付住宅ローン“保障充実プラン”」の取扱実施
- 平成26年2月、リフォームローン「住まい快適」の金利体系を簡素化したほか、資金用途拡大を実施

## 法人のお客さまへの取組み

足利銀行では、お客さまが抱える経営課題を共有し、お客さまに最適なソリューションをご提案いたします。

### ○財務戦略のサポート

多様化する資金調達ニーズに対し、お客さまの現状と将来を見据えた財務提案をいたします。

- お借入れ、私募債、増資（あしぎんファンド）による資金調達のご提案
- 多額の資金調達時におけるシンジケート・ローン組成のご提案
- 振込・振替等各種決済サービスのご提案
- 資金の運用（預金、債券、株式等）に関するご提案

### ○事業承継のサポート

後継者へのスムーズな事業承継のために、現状の分析から問題点の把握、解決策のご提案に至るまで、総合的なコンサルティングを行っております。

- 株価算定のご提案
- 株式の生前贈与・譲渡のご提案
- 企業オーナー一族の相続対策のご提案

### ○事業戦略のサポート

企業の存続と更なる発展のために、円滑な事業承継への取組みや企業間の連携などさまざまな対策のご提案をいたします。

- M&A、IPO（上場）、資本政策、関連会社整理等のご提案（事業拡大・整理、社内体制整備、次ステージへのステップアップ）
- 経営全体の課題の把握、解決、改善のご提案（経営コンサルティング）
- 従業員・役員の福利厚生のご提案（年金・退職金制度（401K他）、役職員の持株制度他）

### ○海外進出に関するサポート

- >> 既存の中華人民共和国の中国銀行、タイ王国のカシコン銀行、インドネシアのCIMBニアガ銀行の活用により、お取引先の海外での口座開設や現地での金融ニーズへの支援を強化
- >> 海外進出支援を強化するために、経済産業省および外務省が実施する「海外展開一貫支援ファストパス制度」に参加
- >> 海外セミナー・商談会の開催
  - ・平成25年5月、「中小部品産業のアジアへの販路拡大支援セミナー」開催
  - ・7月、「アジアへの販路拡大支援セミナー」開催
  - ・平成26年1月、「メキシコの自動車産業と日本企業の動向セミナー（ハラルビジネス）」開催
  - ・3月、「中国セミナー（中国経済の課題と展望）」開催



海外ビジネスセミナー



「日中ものづくり商談会@上海2013」へ参加

# 地域密着型金融への取組み

## お客さまの利便性向上への取組み

### 店舗ネットワークの整備

- 平成25年5月、高崎支店内に設置していた高崎ローンセンターを、ローン業務に特化した有人出張所拠点として移転いたしました。
- 10月、みずほの出張所（リテールセンター）を「インターパーク支店（リテールセンター）」として新築移転し、「インターパークローンセンター」を併設いたしました。
- 平成26年4月、越谷支店内に「越谷ローンセンター」を開設いたしました。

### ATMサービスの拡充

#### ○ATMネットワークの拡充

スーパーマーケット等の商業施設内への設置を前提としたインストア型ATMを20か所に設置し、平成26年4月末のATM設置箇所数は、有人店舗が150か所、店舗外ATMが200か所の合計350か所（平成25年4月末比+20か所）となりました。

#### ○ATMサービスの変更

平成25年10月より、あしぎんATMは一部の店舗を除き営業時間を21時まで拡大いたしました。また、提携しているイオン銀行ATM、セブン銀行ATM、イーネットATMについても大幅にご利用時間を拡大いたしました。なお、平成26年4月からは、あしぎんATMにおいて当日扱いの入金・振替時間を19時から21時に延長いたしました。

#### ○ATM宝くじサービス

平成25年6月、ATMでの数字選択宝くじ「ロト7」の取扱いを開始いたしました。

#### ○ATMペイジーサービス

平成26年4月、ATMペイジー「税金・各種料金払込みサービス」機能を追加いたしました。

### インターネットバンキングサービスの機能向上への取組み

- 平成25年12月より、無償でご利用いただけるセキュリティ対策ソフト「nProtect Netizen」を、「SaAT Netizen」にバージョンアップし、セキュリティ対策を更に強化。

### 個人のお客さま向けインターネットバンキングの機能向上

- 9月、投資信託報告書の電子交付サービスを開始。
- 12月、少額投資非課税制度（NISA）の取扱開始。
- 平成26年3月、税金各種料金の払込み（Pay-easy）の取扱時間延長。



インターパーク支店オープン



インストア型ATM





## 新たな金融商品・サービス

- 6月、教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置に対応した「教育資金贈与専用預金」の取扱開始。
- 10月、お申込みからお受取りまでご来店不要な新カードローン商品「あしぎんカードローン“Mo・Shi・Ca”（モシカ）」の取扱開始。
- 10月、『あしぎん教育カードローン「カルチュラタン」』の取扱開始。在学中に必要な学費を上限にカードローンのご利用限度額を設定し、カード発行後はATMにてご利用可能となり、都度の窓口での手続きは不要です。
- 10月、個人のお客さまを対象とした通帳を発行しない「あしぎんWEB口座」の取扱開始。通帳が発行されないの、記帳や繰越の手間がなく盗難や紛失の心配もありません。また、環境にもやさしい取り組みです。
- 10月、教育・マイカー・リフォームローンの金利体系を簡素化したほか、WEBでのお申し込みの際、多くのお客さまにご理解いただきやすいホームページとなるよう大幅なりニューアルを行いました。

## 地域活性化への取り組み

- 栃木県と「地域経済の発展を目的とした連携協定」を締結し、①県内企業の成長力強化、②新産業・成長産業の開拓・支援、③企業誘致・定着の促進に積極的に取り組んでおります。
- 平成25年4月、栃木県内企業等の海外展開を支援するため、栃木県、野村證券と共同で「海外進出支援相談窓口」を設置。
- 10月、当行を含む地方銀行38行共同により、“食”の展示商談会である「地方銀行フードセレクション2013」を開催。
- 11月、栃木県内6信用金庫・2信用組合と共同で、地元製造業の販路拡大支援を目的とした「ものづくり企業展示・商談会2013」を開催。
- 11月、あしぎん総合研究所と連携し、「あしぎんおもてなしセミナー」を開催。
- 平成26年1月、栃木県と共同で、食と農に関するビジネスマッチング支援を目的とした「とちぎ食の展示・商談会2014」を開催。
- 3月、栃木県、野村證券、宇都宮大学と連携して取り組んできた『「食と農」企業支援プロジェクト』の成果報告会を開催。
- 当行が中心となって栃木県内主要観光地の有志による「県内主要観光地情報交換会」を定期的で開催し、積極的な情報交換・交流の継続により観光振興に向けた新たな取り組み等の検討を進めております。



あしぎんカードローン“Mo・Shi・Ca”の取扱開始



あしぎんWEB口座の取扱開始



地方銀行フードセレクション2013

# CSR(企業の社会的責任)への取組み

## 環境問題への取組み

### 「あしぎんの森」

栃木県県民の森(栃木県矢板市)に「あしぎんの森」を創設し、24年度から2回にわたり植樹活動(当行役職員とその家族約550名の参加)を行いました。この植樹活動により、とちぎカーボンオフセット制度に基づき、24年度は1.84トン、25年度は1.04トンのCO<sub>2</sub>削減が認証されています。26年度は苗木がより成長しやすい環境に整備するため、成長を遮る下草の除去と歩道の整備を行っていきます。



「あしぎんの森」植樹

### 足尾の山への植樹活動

25年6月、NPO法人「足尾に緑を育てる会」協力のもと、新入行員98名と栃木県産業協議会の会員企業の新入社員53名により、足尾の山への苗木の植樹を行いました。



足尾の山植樹

## 文化・スポーツ振興等

23年度より、栃木県が開催する音楽コンサートのネーミングライツパートナーとなり、「あしぎんマロニエ県庁コンサート」として、県民の文化活動の発表の場や文化に親しむ機会の提供に協力しております。

地元スポーツクラブを地元の皆さまとともに応援するため、「栃木SC(株式会社栃木サッカークラブ)」のオフィシャルパートナーとなっているほか、「宇都宮ブリッツェン(サイクルスポーツマネージメント株式

会社)」「H.C.(ホッケークラブ)栃木日光アイスバックス(株式会社栃木ユナイテッド)」のオフィシャルスポンサーとなっております。

25年12月にH.C.栃木日光アイスバックスの公式戦(vs東北フリーブレイズ)を、26年4月にはサッカーJ2リーグ栃木SCへの特別協賛による冠試合(vs水戸ホーリーホック)を、『あしぎんGOODYカード5周年記念マッチ』として開催いたしました。

### 日光杉並木

世界に誇る日光杉並木を守るため、栃木県が行っている「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、平成8年よりオーナーとなっております。その後の継続的な購入により、一



団体としては最多の78本(1本1,000万円)の杉を保有しております。

日光杉並木オーナー証書授与式

### 「エコ通勤week」への参加

栃木県ならびに県内市町が取組む「エコ通勤week」統一行動に、足利銀行グループとして例年参加し(10月15日から21日まで実施)、一日あたり約1,800名の役職員がエコ通勤に取り組みました。



栃木SC特別協賛冠試合

## 金融教育の推進

### キッズスクールの開催

25年8月、地域の小学生を対象とした『あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」』を本店にて開催し、親子23組62名が参加いたしました。



キッズスクール

### 「エコノミクス甲子園」 栃木大会の開催

25年12月、高校生が楽しみながら金融経済に触れ、金融知力を身につける機会を提供するため、第8回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」 栃木大会を開催いたしました。



「エコノミクス甲子園」 栃木大会

## 栃木県産業協議会

昭和56年、栃木県内の有力企業経営者の経済団体として設立され、定期の勉強会を通じて情報交換や異業種交流、後継者育成などを行っております。当行は事務局の役割を果たすなど、積極的に支援しております。



栃木県産業協議会

## 公益財団法人あしぎん国際交流財団

当行が昭和60年に創設したあしぎん国際交流財団では、国際交流活動の促進や国際性豊かな地域社会の創造に寄与することを目的に、地域の国際交流団体や海外からの留学生への助成等を行っております。



助成先と財団役員



H.C.栃木日光アイスバックス公式戦



宇都宮ブリツェン自転車教室



# 連結財務諸表 (足利ホールディングス)

## 連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	344,369
コールローン及び買入手形	1,520
買入金銭債権	8,180
商品有価証券	4,266
有価証券	1,176,469
貸出金	3,958,083
外国為替	5,969
その他資産	20,307
有形固定資産	23,378
無形固定資産	93,141
退職給付に係る資産	3,357
繰延税金資産	2,027
支払承諾見返	15,333
貸倒引当金	△ 44,051
<b>資産の部合計</b>	<b>5,612,355</b>
<b>負債の部</b>	
預金	4,943,137
譲渡性預金	171,040
コールマネー及び売渡手形	6,175
債券貸借取引受入担保金	5,965
借入金	180,644
外国為替	763
その他負債	43,022
役員賞与引当金	48
退職給付に係る負債	2,779
役員退職慰労引当金	189
睡眠預金払戻損失引当金	1,606
偶発損失引当金	424
ポイント引当金	88
支払承諾	15,333
<b>負債の部合計</b>	<b>5,371,220</b>
<b>純資産の部</b>	
資本金	117,495
資本剰余金	29,025
利益剰余金	75,375
株主資本合計	221,896
その他有価証券評価差額金	20,230
繰延ヘッジ損益	△ 30
退職給付に係る調整累計額	△ 960
その他の包括利益累計額合計	19,239
<b>純資産の部合計</b>	<b>241,135</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,612,355</b>

### 資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など、主に資金の運用状況を表します。

### 負債の部

お客さまからお預りしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表します。

### 純資産の部

株主の皆さまからのご出資金である「資本金」や今までの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額です。

## 連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>108,069</b>
資金運用収益	69,456
（うち貸出金利息）	(57,751)
（うち有価証券利息配当金）	(11,196)
役務取引等収益	21,317
その他業務収益	3,437
その他経常収益	13,857
<b>経常費用</b>	<b>79,797</b>
資金調達費用	4,624
（うち預金利息）	(2,487)
役務取引等費用	5,759
その他業務費用	1,461
営業経費	57,547
その他経常費用	10,405
<b>経常利益</b>	<b>28,271</b>
<b>特別利益</b>	<b>4</b>
固定資産処分益	4
<b>特別損失</b>	<b>354</b>
固定資産処分損	39
減損損失	71
割増退職金	243
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>27,921</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>2,708</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>898</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>3,607</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>24,314</b>
<b>当期純利益</b>	<b>24,314</b>

### 経常収益、経常費用

「経常収益」は、貸出金利息や各種手数料等の収益で、「経常費用」は預金利息や営業経費等の費用を表します。

### 経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益のことです。

### 当期純利益

経常利益から税金等を差し引いた最終的な利益のことです。



## 連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	105,010	95,780	56,730	-	257,521	21,954	△ 132	-	21,822	279,343
当期変動額										
新株の発行	12,485	12,485			24,971					24,971
剰余金の配当			△ 5,670		△ 5,670					△ 5,670
当期純利益			24,314		24,314					24,314
自己株式の取得				△ 79,240	△ 79,240					△ 79,240
自己株式の消却		△ 79,240		79,240	-					-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△ 1,724	101	△ 960	△ 2,583	△ 2,583
当期変動額合計	12,485	△ 66,755	18,644	-	△ 35,625	△ 1,724	101	△ 960	△ 2,583	△ 38,208
当期末残高	117,495	29,025	75,375	-	221,896	20,230	△ 30	△ 960	19,239	241,135

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		外国為替 (資産) の純増 (△) 減	1,481
税金等調整前当期純利益	27,921	外国為替 (負債) の純増減 (△)	213
減価償却費	3,702	資金運用による収入	70,772
減損損失	71	資金調達による支出	△ 5,448
のれん償却額	6,202	その他	△ 1,674
貸倒引当金の増減 (△)	1,012	小計	229,747
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 8	法人税等の支払額	△ 2,565
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△ 1,076	営業活動によるキャッシュ・フロー	227,182
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△ 446	<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△ 65	有価証券の取得による支出	△ 385,180
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	88	有価証券の売却による収入	189,879
偶発損失引当金の増減 (△)	97	有価証券の償還による収入	217,544
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	14	有形固定資産の取得による支出	△ 1,605
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△ 70	有形固定資産の売却による収入	48
資金運用収益	△ 69,456	無形固定資産の取得による支出	△ 647
資金調達費用	4,624	その他	△ 4
有価証券関係損益 (△)	△ 9,758	投資活動によるキャッシュ・フロー	20,035
為替差損益 (△は益)	△ 1,515	<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
固定資産処分損益 (△は益)	34	劣後特約付借入れによる収入	70,000
貸出金の純増 (△) 減	△ 182,108	劣後特約付借入れの返済による支出	△ 70,000
預金の純増減 (△)	197,325	株式の発行による収入	24,971
譲渡性預金の純増減 (△)	20,113	配当金の支払額	△ 5,670
借入金 (劣後特約付借入金を除く) の純増減 (△)	58,940	自己株式の取得による支出	△ 79,240
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	40,808	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,939
コールローン等の純増 (△) 減	127,749	<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>29</b>
商品有価証券の純増 (△) 減	13	現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	187,307
コールマネー等の純増減 (△)	6,175	現金及び現金同等物の期首残高	155,060
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	△ 65,985	現金及び現金同等物の期末残高	342,368

# 連結財務諸表 (足利銀行)

## 連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

科 目		金 額	科 目		金 額
(単位：百万円)					
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
現金預け金	344,369	預金	4,950,712		
コールローン及び買入手形	1,520	譲渡性預金	181,040		
買入金銭債権	8,180	コールマネー及び売渡手形	6,175		
商品有価証券	4,266	債券貸借取引受入担保金	5,965		
有価証券	1,176,469	借入金	100,644		
貸出金	4,008,083	外国為替	763		
外国為替	5,969	その他負債	42,251		
その他資産	17,294	役員賞与引当金	21		
有形固定資産	23,840	退職給付に係る負債	2,779		
無形固定資産	4,756	役員退職慰労引当金	92		
退職給付に係る資産	3,357	睡眠預金払戻損失引当金	1,606		
繰延税金資産	2,885	偶発損失引当金	424		
支払承諾見返	15,333	ポイント引当金	88		
貸倒引当金	△ 44,091	支払承諾	15,333		
		<b>負債の部合計</b>	<b>5,307,901</b>		
		<b>純 資 産 の 部</b>			
		資本金	135,000		
		利益剰余金	107,405		
		株主資本合計	242,405		
		その他有価証券評価差額金	22,923		
		繰延ヘッジ損益	△ 30		
		退職給付に係る調整累計額	△ 960		
		その他の包括利益累計額合計	21,932		
		<b>純資産の部合計</b>	<b>264,337</b>		
<b>資産の部合計</b>	<b>5,572,238</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,572,238</b>		

## 連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科 目	金 額
(単位：百万円)	
<b>経常収益</b>	<b>109,411</b>
資金運用収益	69,657
(うち貸出金利息)	(58,516)
(うち有価証券利息配当金)	(10,632)
役員取引等収益	21,347
その他業務収益	3,437
その他経常収益	14,969
<b>経常費用</b>	<b>71,697</b>
資金調達費用	2,838
(うち預金利息)	(2,489)
役員取引等費用	5,759
その他業務費用	1,461
営業経費	51,501
その他経常費用	10,136
<b>経常利益</b>	<b>37,713</b>
特別利益	4
特別損失	370
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>37,347</b>
法人税、住民税及び事業税	2,704
法人税等調整額	658
法人税等合計	3,363
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>33,984</b>
<b>当期純利益</b>	<b>33,984</b>

## 連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

	株 主 資 本			その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	135,000	88,166	223,166	25,539	△ 132	-	25,407	248,573
当期変動額								
剰余金の配当		△ 14,745	△ 14,745					△ 14,745
当期純利益		33,984	33,984					33,984
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)				△ 2,616	101	△ 960	△ 3,475	△ 3,475
当期変動額合計	-	19,238	19,238	△ 2,616	101	△ 960	△ 3,475	15,763
当期末残高	135,000	107,405	242,405	22,923	△ 30	△ 960	21,932	264,337

# 単体財務諸表 (足利銀行)

## 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

科 目		金 額	科 目		金 額
資 産 の 部			負 債 の 部		
現金預け金	344,367	預金	4,957,892		
コールローン	1,520	譲渡性預金	226,040		
買入金銭債権	8,180	コールマネー	6,175		
商品有価証券	4,266	債券貸借取引受入担保金	5,965		
有価証券	1,205,418	借入金	100,644		
貸出金	4,007,311	外国為替	763		
外国為替	5,969	その他負債	26,812		
その他資産	15,142	役員賞与引当金	21		
有形固定資産	24,536	退職給付引当金	812		
無形固定資産	4,739	役員退職慰労引当金	86		
前払年金費用	2,955	睡眠預金払戻損失引当金	1,606		
繰延税金資産	2,219	偶発損失引当金	424		
支払承諾見返	15,333	ポイント引当金	51		
貸倒引当金	△ 40,715	支払承諾	15,333		
		<b>負債の部合計</b>	<b>5,342,632</b>		
		純 資 産 の 部			
		資本金	135,000		
		利益剰余金	100,737		
		利益準備金	12,332		
		その他利益剰余金	88,404		
		繰越利益剰余金	88,404		
		株主資本合計	235,737		
		その他有価証券評価差額金	22,907		
		繰延ヘッジ損益	△ 30		
		評価・換算差額等合計	22,876		
		<b>純資産の部合計</b>	<b>258,614</b>		
<b>資産の部合計</b>	<b>5,601,246</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,601,246</b>		

## 損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科 目		金 額
経常収益		104,990
資金運用収益	66,703	
（うち貸出金利息）	(55,574)	
（うち有価証券利息配当金）	(10,630)	
役員取引等収益	20,189	
その他業務収益	3,114	
その他経常収益	14,983	
経常費用		69,565
資金調達費用	2,845	
（うち預金利息）	(2,493)	
役員取引等費用	5,840	
その他業務費用	1,331	
営業経費	49,931	
その他経常費用	9,617	
<b>経常利益</b>	<b>35,425</b>	
特別利益	4	
特別損失	427	
<b>税引前当期純利益</b>	<b>35,002</b>	
法人税、住民税及び事業税	2,158	
法人税等調整額	663	
<b>法人税等合計</b>	<b>2,821</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>32,180</b>	

## 株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

	株 主 資 本				株主資本合計	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	資本金	利益準備金	利益剰余金			その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
			その他利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	135,000	9,383	73,919	83,302	218,302	25,522	△ 132	25,390	243,693
当期変動額									
剰余金の配当		2,949	△ 17,694	△ 14,745	△ 14,745				△ 14,745
当期純利益			32,180	32,180	32,180				32,180
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△ 2,615	101	△ 2,513	△ 2,513
<b>当期変動額合計</b>	<b>-</b>	<b>2,949</b>	<b>14,485</b>	<b>17,434</b>	<b>17,434</b>	<b>△ 2,615</b>	<b>101</b>	<b>△ 2,513</b>	<b>14,921</b>
当期末残高	135,000	12,332	88,404	100,737	235,737	22,907	△ 30	22,876	258,614

# 営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (26年4月末現在)

	営業所数	店外ATM	ローンセンター
栃木県	112店 (うち出張所43)	181	15
群馬県	15店 ( )	5	13
茨城県	8店 ( )	2	3
埼玉県	16店 ( )	1	1
東京都	1店 ( )	-	-
福島県	1店 ( )	-	-
合計	153店 ( )	51	200
			24

※振込専用支店 (1か店) を含む  
 ※提携コンビニATM (セブン銀行ATM・イーネットATM)  
 全国30,872か所 (26年4月末現在)

(出) ……出張所  
 (リ) ……リテールセンター  
 (フ) ……あしぎんプラザ  
 (ロ) ……ローンセンター



発行/平成26年6月

足利ホールディングス経営企画部

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25  
 TEL028-622-8411 (代表) <http://www.ashikaga-hd.co.jp>

足利銀行広報室

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25  
 TEL028-622-0111 (代表) <http://www.ashikagabank.co.jp>



足利銀行はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。